

【宇部版】中小企業景況動向調査 調査レポート

2024年 4～6月期の景況 / 2024年 7～9月期の見通し

宇部市内における中小企業の業況は小幅な低下状況にある。

今回調査のポイント

宇部商工会議所情報サービス部では市内中小企業(下記DATA参照)の景況動向等を把握するため、2024年4～6月期の実績と2024年7～9月期の予測を取りまとめた。本調査は、3ヶ月ごとに年4回実施する予定である。

全産業のDI値は、前期より▲6.2%の悪化となった。業種別では、小売業は▲17.6%から▲12.5%へ、サービス業は▲10.0%から3.3%へ回復した。建設業は▲6.9%から▲13.8%へ、製造業は15.0%から▲21.1%へ、卸売業は▲15.8%から▲20.0%へと悪化した。

今期中に新規設備投資を実施した企業は43.4%、来期設備投資を実施予定の企業は41.6%であり、今期よりも1.8%減少する見込みである。

経営上の問題点については、依然として全業種で「従業員の確保難」が上位に挙げられており、「従業員の確保難」が継続していることがうかがえる。さらに多くの業種で「人件費の増加」や「仕入単価の上昇」に関する問題が上位を占めている。

DI(ディフュージョン・インデックス)とは？

DI値とは、企業の業況感や設備などの変化の方向性を示す指標。経済部門ごとの調査回答「上昇」「不変」「下降」をもとに、景気変動に係る複数の指数を合成して算出する。

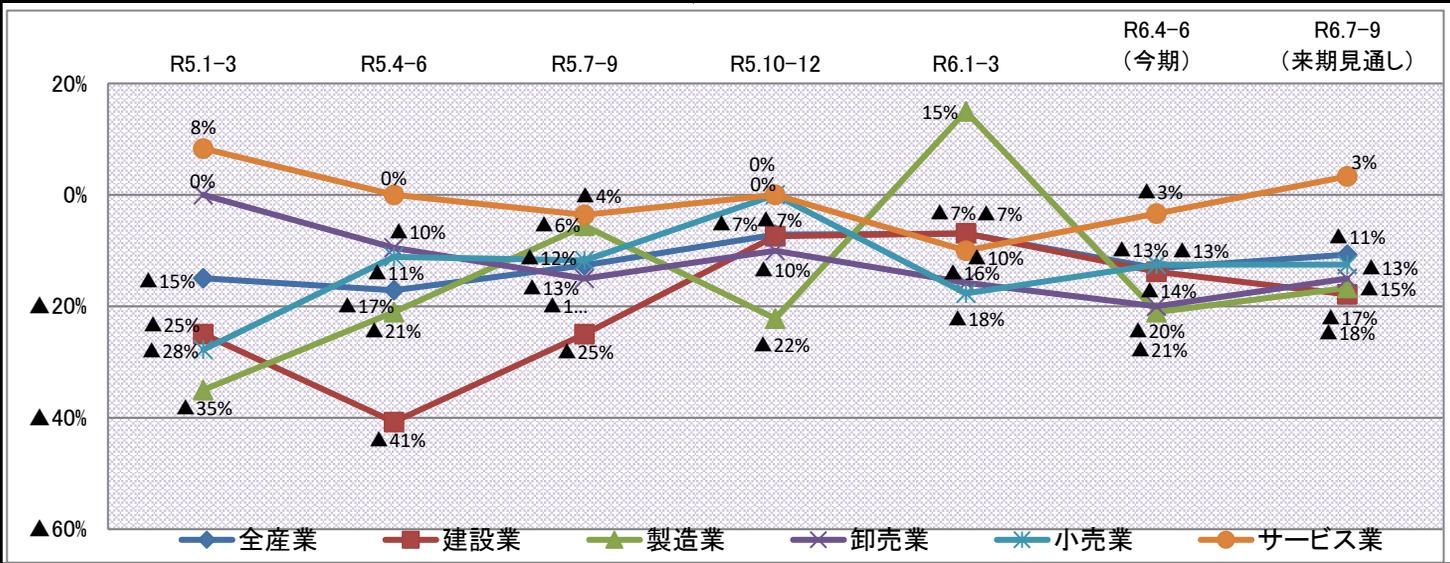
DATA

- 調査期間: 令和6年6月10日～6月21日
- 調査対象: 宇部市内の中小企業127社
- 有効回答企業数: 117社(92.1%)

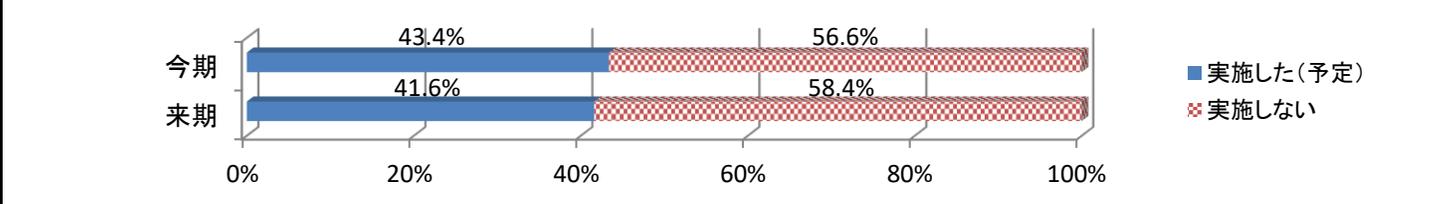
1. 業況DI値(今期の状況)

	業況	前回は	売上高	前回は	資金繰り	前回は	経常利益	前回は	従業員数	前回は
全産業	▲13.2%	▲6.2%	▲7.8%	▲3.4%	▲9.6%	▲2.8%	▲18.4%	▲3.6%	▲6.3%	11.2%
建設業	▲13.8%	▲6.9%	▲20.7%	▲10.3%	▲6.9%	▲6.9%	▲34.5%	▲17.2%	▲6.9%	▲10.3%
製造業	▲21.1%	▲36.1%	▲5.0%	▲20.0%	▲5.3%	▲10.3%	▲10.0%	▲20.0%	0.0%	30.0%
卸売業	▲20.0%	▲4.2%	▲10.0%	20.0%	0.0%	0.0%	▲20.0%	▲5.0%	▲10.0%	10.0%
小売業	▲12.5%	5.1%	▲17.6%	▲11.8%	▲25.0%	▲7.4%	▲18.8%	10.7%	7.1%	20.5%
サービス業	▲3.3%	6.7%	10.0%	3.3%	▲13.3%	6.7%	▲6.9%	13.8%	▲13.8%	16.2%

2. 産業別業況判断DI(今期の結果と来期の見通し)



3. 新規設備投資(今期実施・来期計画)



4. 経営上の問題点

	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業
1位	従業員の確保難 24.7%	原材料価格の上昇 18.3%	仕入単価の上昇 17.3%	仕入単価の上昇 20.0%	従業員の確保難 18.5%
2位	材料価格の上昇 14.8%	生産設備の不足・老朽化 11.7%	従業員の確保難 15.4%	従業員の確保難 20.0%	人件費の増加 12.3%
3位	下請業者の確保難 12.3%	従業員の確保難 11.7%	人件費の増加 11.5%	人件費の増加 17.5%	利用者ニーズの変化への対応 11.1%
4位	人件費の増加 11.1%	製品ニーズの変化への対応 10.0%	店舗・倉庫の狭隘・老朽化 9.6%	消費者ニーズの変化への対応 12.5%	熟練従業員の確保難 9.9%